

# 静岡県御前崎市

柳澤重夫 市長  
やなぎさわ しげお



## 太陽の恵みにあふれるまち

実は、御前崎市は全国でも指折りの日照時間を誇るまちで、この太陽の恵みを受けた地域資源がたくさんあります。それを代表するのが、特産品の数々です。日照時間が長く温暖な気候は農業に適しており、施設園芸やお茶の栽培が盛んです。1本の木に1個ずつ育てられたアロームロンは贈答品として人気ですし、御前崎茶の推奨品種である『つゆひかり』は、従来のお茶より数日早い早生品種で、色みが良く、渋みの少ないまろやかな味わいが好評となっています。

# わがまち自慢

## ～市長室から～

### 【御前崎市情報】

〔面積〕 65.56km<sup>2</sup>  
〔人口〕 32,956人(平成30年5月現在)  
〔発電所データ〕 中部電力㈱ 浜岡原子力発電所



温暖な気候は家畜の飼育にも適しており、『遠州夢咲牛』、『遠州黒豚』、『遠州一黒シヤモ』は御前崎市が誇るブランドになってい

ます。いずれも、快適な環境と良質な飼料で愛情を込めて育てられており、肉質の追求はもちろん、安心して食べていただける逸品となっています。なかでも『遠州夢咲牛』は平成9年に内閣総理大臣賞を受賞しており、肉質等級A3以上のブランド牛として全国トップレベルの牛肉です。このような数々の特産品は、恵まれた気候風土だけではなく、生産者のこだわりと努力があってこそ生まれたものです。生産者の愛

情がたっぷり詰まった自慢の特産品を、ぜひ皆さんに味わってほしいですね。

また、日照時間が長く温暖な気候はスポーツをする環境にも適しています。2016年リオデジャネイロ五輪の男子400mリレーで銀メダルに輝いた飯塚翔太選手は御前崎市出身です。凱旋インタビューでは「御前崎は天候の良い日も多く、冬に雪も積もらない温暖な地域。とても良い陸上競技場もある」とコメントしてくれました。実際に、温暖な気候は天然芝の栽培にも適しているため、Jリーグ、U-20日本代表などのサッカーのキャンプをおこなった実績



御前崎が誇るブランド牛「遠州夢咲牛」



桜ヶ池お櫃納めの神事。ふんどし姿の若者が池の中央に立ち泳ぎで進み、奉納されたお櫃を池の中央へ次々に沈めていく



御前崎の新品種として人気の『つゆひかり』



『OMAEZAKIシアワセミライカイギ』

もあり、2019年ラグビーワールドカップに出場の南アフリカ、ジョージアのキャンプ地にも決定しました。これを機に、さらなるスポーツ振興に加え、国際交流やおもてなしの取り組みなどに力を入れていきたいと考えています。

## やっぱり「海」が自慢の御前崎

静岡県最南端に位置する御前崎市には、海と緑に囲まれた豊かな自然、井伊直虎に関連した史跡、龍神伝説で知られる『桜ヶ池』など、観光資源や歴史文化も数多く



御前崎市  
シティプロモーション ポスター

あります。なかでも、御前埼灯台はまちのシンボルとして地域の人々から愛されていますし、船乗りにとっては「心のふるさと」の

ようなものです。日本に15基しかない登ることができるといわれる御前埼灯台のひとりで、天気が良ければ展望デッキから伊豆半島、南アルプス、富士山を一望できます。また、灯台が建つ岬は朝日・夕日の両方が眺められるスポットとしても人気です。美しい海も大きな自慢です。『マリパーク御前埼』の海水浴場は、毎年「環境省による水質判定で最高水準（A）を誇り、平成18年には「快水浴場百選」にも選ばれ

御前埼灯台

『マリパーク御前埼』からの朝日



ウインドサーファーで賑わう『御前埼ロングビーチ』



たことがありません。『御前埼ロングビーチ』では、陸地に沿って強く安定した風が吹いているため、ウインドサーフィンの「メッカ」と呼ばれるほど国内では最も恵まれたポイントとなっています。そんな御前埼の海は、多くのプロウインドサーファーを輩出しており、最近では若干16歳のプロウインドサーファー石井孝良選手が誕生し、その影響でしょうか、早朝にウインドサーフィンをしてから学校に

いく子供たちも増えてきていると聞いています。観光地としても、マリンスポーツの適地としても、御前埼の海の魅力を地域内外の皆さんに知ってほしいですね。

### シティプロモーションで「住み続けたいまちづくり」を推進

このように、数多くある御前崎の魅力が市民の皆さんに再認識してもらおうとともに、訪れる人々にもPRしていくために、シティプロモーションの取り組みを進めています。

その一環として、市民と行政の連携による『OMAEZAKIシニアウォークライカイギ』を組織し、まち歩きやワークシヨップなどを通じて、市民の皆さんに地域の魅力を引き出してもらっています。ワークシヨップでは小・中・高校生も参加し、様々な意見をもらいました。子供たちなりに、地域のことをよく考えてくれていますし、彼ら彼女らがこれからの御前崎のまちづくりの担い手となってくれることを期待しています。

市外の皆さんに向けた広報や情報発信としては、市のホームページを本年3月に一新し、地域の魅力が写真などで視覚的に伝わるようにしました。その中に、シティプロモーションサイト『UMICO

（ウミコ）を立ち上げました。『UMICO』では、魅力溢れる御前崎の素敵なヒト・コト・モノを紹介しています。

このように、市全体が一体となり地域の魅力を発信することで、地域に活力をもたらす、「いつまでも住み続けたいまちづくり」を推進するとともに、この取り組みを次世代へ引き継いでいきたいと考えています。

### 「エネルギーのまち」御前崎として

御前崎市は中京圏にエネルギーを安定供給することで貢献し、発展してきたまちです。旧浜岡町に原子力発電所の立地の申し入れがあつてから、50年になります。昭和40年代当時は、原子力発電に関する情報が現在ほど伝わっていない中、地域の人たちには多くの苦労があつたことと思います。先人の苦労があつてエネルギーのまちとしての今があるのです。

現在は、浜岡原子力発電所は国の適合性審査中であり、その判断を待っている状況です。今後は、浜岡原子力発電所などの既存のエネルギーインフラの活用を図りながら、地域の発展と安全・安心につながる取り組みを展開し、市民・事業者・行政が一体となって、エネルギーを通じた総合的なまちづくりを推進していく所存です。（談）